

【参考 4】社会参加に関する障害者等の意識調査について

1 調査概要

○調査基準日：平成 28 年 7 月 1 日

○調査対象者：

- ・東京都内に居住する 18 歳以上の身体障害者、知的障害者及び精神障害者並びに難病患者
- ・障害当事者及び支援者団体
- ・都内障害福祉サービス事業所等
- ・都内民間企業

○調査の方法：郵送配布、郵送回収

■ 情報アクセシビリティについて

図表 1 【障害者等】コミュニケーションや連絡の手段〔複数回答〕(Q27)

① 現状

コミュニケーションや連絡の手段は、学校・施設・職場、家庭、その他の場所（駅やまちなど）のいずれにおいても、「携帯電話、スマートフォン、タブレット、パソコン」（学校・施設・職場 51.1%、家庭 60.8%、その他の場所 52.3%）や「メール」（学校・施設・職場 30.3%、家庭 34.9%、その他の場所 23.9%）の割合が高い。



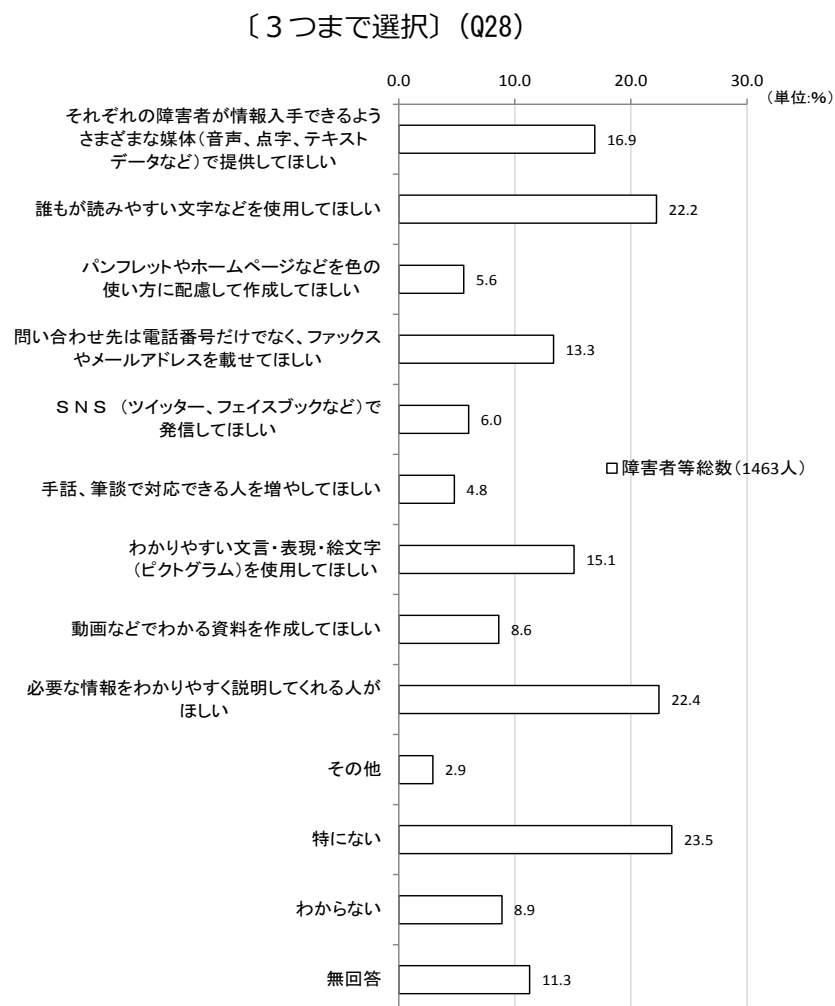
② 必要な支援

情報アクセシビリティの観点から必要な支援は「必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい」(22.4%)、「誰もが読みやすい文字などを使用してほしい」(22.2%)等の配慮を求める障害者等の声が多く、誰もが分かりやすい情報提供が求められている。

障害別、身体障害種別にみると、視覚は「それぞれの障害者が情報入手できるようさまざまな媒体（音声、点字、テキストデータなど）で提供してほしい」、「誰もが読みやすい文字などを使用してほしい」が、聴覚は「問い合わせ先は電話番号だけでなく、ファックスやメールアドレスを載せてほしい」、「手話、筆談で対応できる人を増やしてほしい」が他の身体障害種別に比べて高い。知的障害者は「わかりやすい文言・表現・絵文字（ピクトグラム）を使用してほしい」が他の障害に比べて高い。

障害者団体からは「それぞれの障害者が情報入手できるようさまざまな媒体（音声、点字、テキストデータなど）で提供してほしい」(47.8%、11 団体)、「問い合わせ先は電話番号だけでなく、ファックスやメールアドレスを載せてほしい」(47.8%、11 団体)、事業所からは「わかりやすい文言・表現・絵文字（ピクトグラム）を使用してほしい」(50.9%)、「必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい」(47.3%)という意見が多かった。表現方法に配慮しつつ、様々な方法で情報提供を行い、かつ丁寧な説明を求める意見がみられた。

図表2 【障害者等】情報入手やコミュニケーションをとる上で必要な配慮



図表 3 【障害者等】情報入手やコミュニケーションをとる上で必要な配慮

身体障害者 (914人)	特にない 23.9	誰もが読みやすい文字などを使用してほしい 21.7	必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい 20.4
知的障害者 (362人)	必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい 32.0	誰もが読みやすい文字などを使用してほしい 26.2	わかりやすい文言・表現・絵文字(ピクトグラム)を使用してほしい 25.7
精神障害者 (241人)	必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい 23.2	誰もが読みやすい文字などを使用してほしい 21.6	特にない 18.3
難病医療費助成者 (316人)	特にない 30.7	誰もが読みやすい文字などを使用してほしい 25.0	それぞれの障害者が情報入手できるようさまざまな媒体(音声、点字、テキストデータなど)で提供してほしい 19.3



視覚 (119人)	それぞれの障害者が情報入手できるようさまざまな媒体(音声、点字、テキストデータなど)で提供してほしい 39.5	誰もが読みやすい文字などを使用してほしい 31.1	必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい 26.9
聴覚 (133人)	問い合わせ先は電話番号だけでなく、ファックスやメールアドレスを載せてほしい 32.3	手話、筆談で対応できる人を増やしてほしい 30.8	誰もが読みやすい文字などを使用してほしい 23.3
平衡機能 (28人)	必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい 32.1	わかりやすい文言・表現・絵文字(ピクトグラム)を使用してほしい 25.0	誰もが読みやすい文字などを使用してほしい 17.9
音声・言語・そしゃく機能 (93人)	特にない 22.6	必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい 21.5	わかりやすい文言・表現・絵文字(ピクトグラム)を使用してほしい 17.2
上肢 (175人)	必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい 25.7	特にない 22.3	わかりやすい文言・表現・絵文字(ピクトグラム)を使用してほしい 17.7
下肢 (261人)	特にない 24.1	誰もが読みやすい文字などを使用してほしい 20.3	必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい 20.3
体幹 (105人)	必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい 27.6	わかりやすい文言・表現・絵文字(ピクトグラム)を使用してほしい 22.9	それぞれの障害者が情報入手できるようさまざまな媒体(音声、点字、テキストデータなど)で提供してほしい 18.1
脳原性運動機能 (72人)	必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい 27.8	それぞれの障害者が情報入手できるようさまざまな媒体(音声、点字、テキストデータなど)で提供してほしい 19.4	動画などでわかる資料を作成してほしい 19.4
内部障害 (259人)	特にない 31.7	誰もが読みやすい文字などを使用してほしい 21.2	必要な情報をわかりやすく説明してくれる人がほしい 16.6

※それぞれ上位3位までを掲載

図表4 【障害者団体・事業所】当事者会員／利用者の情報入手や

コミュニケーションにあるとよい配慮〔複数回答／3つまで選択〕（障害者団体 Q16、事業所 Q17）

